

Cica セーフティキャップ



化学物質を取扱うラボ従事者の皆様へ

労働安全衛生法改正(平成 28 年 6 月 1 日施行)により、一定の危険有害性のある化学物質(640 物質)について、事業場におけるリスクアセスメントが義務づけられます。

<リスクアセスメントとは> ※

化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険又は健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減対策を検討することをいいます。

<対象となる事業場は>

業種、事業場規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取扱いを行うすべての事業場が対象となります。

<リスクアセスメントの実施義務の対象物質> ※

対象物質は安全データシート(SDS)の交付義務の対象である 640 物質です。

※厚生労働省ホームページ⇒労働安全衛生法の改正について⇒リスクアセスメントパンフレットより

※対象物質は、厚労省⇒職場の安全サイト⇒GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報でご確認ください。



ラボの環境を安全に保ち、リスク低減する Cica セーフティキャップをご提案します。

HPLC 機器で使用する溶媒の空气中への放出を防ぎます。

液クロ用溶媒のリスクアセスメント対象 15 物質

政令番号	物質名	対象となる範囲 (重量%)
15	アセトニトリル	1%以上
17	アセトン	0.1%以上
61	エタノール	0.1%以上
160	クロロホルム	1%以上
177	酢酸エチル	1%以上
227	1,4-ジオキサン	0.1%以上
232	シクロヘキサン	0.1%以上
257	ジクロロメタン	0.1%以上
367	テトラヒドロフラン	1%以上
407	トルエン	0.1%以上
477	ブタノール	0.1%以上
494	プロピルアルコール	0.1%以上
520	ヘキサン	0.1%以上
526	ヘプタン	1%以上
560	メタノール	0.1%以上

- HPLC 機器で主に使用される、アセトニトリルやメタノール等の有機溶媒が空气中へ放出されるのを防ぐことで、ラボで働く分析者の健康を守ります。
- ベントバルブの交換時期が判断できるタイムストリップが付いています。
- ベントバルブには PTFE メンブランフィルタを使用し、溶媒が塵や微粒子によって汚染されることを防ぎます。又、逆止弁が付いておりポンプ稼働陰圧にすると弁が開きエアが入ります、加圧や無圧の際は、弁は閉じており有機溶媒が漏れ出しません。
- 廃液ボトル用にはチャコールフィルタを使用しており、廃液を安全に保管することが可能です。

